

漢字圏の低中学年 漢字導入指導計画例

教案：漢字圏 小学校低・中学年 漢字導入 指導計画例

学齢：小1～小4

場面：その他

教材種類：テキスト、ワークシート、その他

母語：中国語、朝鮮・韓国語、その他

教授法：間接・直接法

クラスサイズ：2～数名

中国語母語話者の高学年、中学生など、出身国で漢字を言語として定着させている子どもには、すでに持っている漢字の知識や認知力を十分に利用した学習法が効果的と言われています。

低学年、中学年の子どもなど出身国などで漢字の導入や接触経験はあるものの、十分に定着していない学習者に対し、非漢字圏よりもやや速習、高学年よりもゆっくりとした導入を考え、「かんじだいすき」（出版：国際日本語普及協会）の著者の協力を得て、「かんじだいすき(一)」を参照した漢字の読み書きの導入のための指導計画例を作成しました。読み、書きあわせて20コマの指導計画となります。文脈の中で漢字を使いながら読み書きの習得を目指しています。

「こどもの日本語ライブラリ」指導計画例の中では、漢字圏に特化した指導計画例（高学年・中学生向け）を提案しており、指導計画例の基づいた教材（「ことばの練習帳」、「漢字の練習帳」など）も提供しています。

漢字圏 低中学年 漢字・学習漢字を使った言葉の導入配分（例）

課	漢字
1課①	一、二、三、四、五、
1課②	六、七、八、九、十
2課	口、目、足、手、耳
3課	上、中、下、右、左
4課	早い、正しい、大きい、小さい
5課	赤、青、白
6課	天気、月、夕がた、目、雨、空
7課	木、林、森、山、川、田
8課	土、火、水、石
9課①	男、女、人、子ども
9課②	先生、王さま
10課	犬、貝、虫、花、草、竹、
11課①	学校、名まえ、本
11課②	文、字、年、音、
12課①	お金、百円玉、千円、車
12課②	町、村、糸、力
13課①	休みます、出ます、立ちます
13課②	見ます、入ります
14課	日曜日、月曜日、火曜日、水曜日、 木曜日、金曜日 土曜日

赤字は、中国語の簡体字と日本語の漢字の違うもので漢字をすでに学んでいる子どもたちを指導する上で気を付けて教える漢字

中国から来た子どもたちは、すでに漢字の書きを学習している子どもとまだの子どもがいる。中国で漢字を学習して来日した子どもには、漢字の読み、日本語の漢字との違いを中心に学習させる(漢字圏用 漢字練習帳参照)

漢字の学習をまだしてない子どもには、1. 読みの復習、2書きの導入の順に学習するとよい。

指導配分(例)

回	1 読み復習	2 書き導入	3 読み導入
1			1課①②
2	1課①②	1課①	
3	1課①②	1課②	2課
4	1課、2課	2課	3課
5	1課、2課、3課	3課	4課
6	1課、2課、3課、4課	4課	5課
7	2課、3課、4課、5課	5課	6課
8	3課、4課、5課、6課、	6課	7課
9	4課、5課、6課、7課	7課	8課
10	5課、6課、7課、8課	8課	9課①
11	6課、7課、8課、9課①	9課①	9課②
12	7課、8課、9課①、9課②	9課②	10課
13	8課、9課①、9課②、10課	10課	11課①
14	9課①、9課②、10課、11課①	11課①	11課②
15	9課②、10課、11課①、11課②	11課②	12課①
16	10課、11課①、11課②、12課①	12課①	12課②
17	11課①、11課②、12課①、12課②	12課②	13課①
18	11課②、12課①、12課②、13課①	13課①	13課②
19	12課①、12課②、13課①、13課②	13課②	14課
20	12課②、13課①、13課②、14課	14課	

	I 読みの指導 ※読み方は導入のみ記入	II 書きの指導	児童学習活動
1 回 目	<p>【読み導入】1課①②（一、二、三、四、五、六、七、八、九、十）（いち、に、さん、し、ご、ろく、しち、はち、く、じゅう）</p> <p>漢字カード（表に漢数字裏に読みを書いたカード）で導入し、読ませる。</p> <p>*漢数字の読み方は、月の読み方で導入。（4ーし、7ーしち、9ーく）</p> <p>*時計（よ、しち、く） 電話（よん、なな、きゅう）の読み方も複数の読み方を知っている子どもには入れる。</p>		<p>Tに続いてカードを読む。</p> <p>算用数字と漢数字のマッチングゲームをする。</p>
2 回 目	<p>1【読み復習】1課①②（一、二、三、四、五、六、七、八、九、十）の漢字カードを読ませる。</p>	<p>2【書き導入】1課① 一、二、三、四、五</p> <p>画数と書き順</p> <p>T「いち、に、さん、よん、ご」と画数を意識させることと書き順を覚えさせることが大切なので、Tに続いてSにも声を出させて書く。</p> <p>四は「いち、にー」と二画目は曲がるのだということを意識させる。</p> <p>五は「いち、に、さーん」と三画目は曲がるのだということを意識させる。</p> <p>漢数字は縦書きノートに練習させる。</p> <p>Sが書いたものは、必ずTがチェックしながら、</p>	<p>カードを読む</p> <p>【書き】</p> <p>Tの板書を見ながら、漢字シートか、8マスノートに声を出しながら、漢字を書く。</p> <p>書き終わったら、声を出して読む。</p>

		<p>Sに読ませて、正しく書けたものには大きく丸を付ける。</p> <p>②ノートに練習させるとき、ひらがな同様、<u>縦書きは右開らき、横書きは左開きにする。</u></p>	<p>ゲーム 1</p> <p>1～10までのカードと一～十までのカードを裏返して置いて、じゃんけんが勝った人から2枚ずつ表にかえして漢数字と算用数字が同じになった場合は取る</p> <p>取ったカードの数の多さで勝負を決める。</p>
--	--	--	---

<p>3 回 目</p>	<p>1【復習】1課（一～十）漢字カードを読ませる。 小テスト 読み*1 例あり</p> <p>3【読み導入】2課 口、目、足、手、耳 （くち、め、あし、て、みみ） ①Tが黒板に人のラフな絵を描いておく。 T：これは何ですか。 S：口です。 答えられたら ①絵の中に漢字を書く。例えば、口の絵の横に口と書く。目の絵の横に目と書く。 ③絵を見ながら読めるようになったら絵を消して、漢字を読む練習をする。 ④文脈の中で漢字を読む 「かんじだいすき（二）」2課 読み問題 参照</p>	<p>2【書き導入】1課① 六、七、八、九、十 ①漢数字と算用数字の点結びをさせる。 ②書き練習をする。 の書きの練習</p> <p>Sが書いたものは、必ずTがチェックしながら、Sに読ませて、正しく書けたものには大きく丸を付ける。</p>	<p>・カードを読む。 ※1課の読みテストをする。 （一～十）</p> <p>ノートに画数、書き順に注意しながら書く。</p> <p>・「口です」「目です」……と答える。 ・絵と漢字を見ながら漢字を読む。 ・黒板に書かれた漢字だけを見て読む。</p>
----------------------	---	---	---

<p>4 回 目</p>	<p>1【読み復習】1課・2課 一～十、口、目、足、手、耳の漢字カードを読ませる。</p> <p>3【読み導入】3課 上、中、下、右、左 (うえ、なか、した、みぎ、ひだり)</p> <p>両手を上に上げて「上」、下にさげて「下」と言う。右手を横に出して「右」、左手を横に出して「左」 ランドセル(カバン)の中に手をいれて「中」と言う。</p> <p>②漢字カードを1枚ずつTが出してSに読ませて体を動かさせる。</p> <p>③文脈で読ませる。 「かんじだいすき(一)」3課読み問題参照。</p>	<p>2【書き導入】2課 口、目、足、手、耳</p> <p>①絵と漢字の点結びをする。</p> <p>②漢字を書くときには画数を意識させるために、Tは「1、2、3」と画数を言いながら書く。</p> <p>③<u>手と耳の字形をとるのが難しい。字形が取れないSにはTが薄く鉛筆で書いてなぞらせる。</u></p>	<p>・漢字カードを読んで復習する。</p> <p>Tの板書を見ながらノートに書く、Sがノートに書くときは「くち、くち……」と言いながら書く。</p> <p>「みぎ、ひだり、うえ、した、なか」と言いながら体を動かす。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>漢字カードを読んで体を動かす。(上の字のときにはうえと読み両手を上に上げる)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>漢字仮名交じり文を読む。</p>
----------------------	--	--	--

<p>5 回 目</p>	<p>1 【読み復習】 1 課・2 課・3 課・ 一～十、口、目、足、手、耳、上、中、下、 右、左、 の漢字カードを読ませる。 カードをシャッフルして読ませる。</p> <p>3 【読み導入】 4 課 早い、正しい、大きい、小さい (はやい、ただしい、おおきい、 ちいさい) ①時計を見ながら、今 9 時です。 朝、4 時に起きました。朝 4 時は早いです。」と 言いながら、「早い」のカードを読ませる。</p> <p>②黒板に $2 + 6 = 8$、正しいですか。と聞く T が聞いて、Sに「正しいです。」と答えさせて正 しいカードを読ませる。</p> <p>③T が大きいりんご、小さいりんごの絵を示し ながら、大きい、小さいも同様に Q A で答えさ せる。</p> <p>④文脈の中で漢字を読ませる。 「かんじだいすき (一)」 4 課参照</p>	<p style="text-align: center;">*小テスト 書き 1</p> <p>2 【書き導入】 3 課 上、中、下、右、左 書き練習をする。上は I が 1 画目、右はノが 1 画目、左は一が 1 画目になることに注意し て書き練習をさせる。</p>	<p>・カードを読んで復習をする。</p> <p style="text-align: center;">※4 課までの書きテストをする。(一～耳)</p> <p>・特に上、右、左の書き順に気を付けて書く。</p> <p>①・T に続いて「朝、早いです。早い」とカー ドを読む。</p> <p>②「にたすろくは、はちです。ただしいです。」 と言って、漢字カードの正しいを読む。</p> <p>③絵カードを見て「大きいです」「小さいです」 を答えた後、漢字カードで漢字を確認する。</p> <p style="text-align: center;">ゲーム 2</p> <p>今まで学習した漢字カードを部屋のいろいろな ところに置いて、T が読んだカードを探す。</p>
----------------------	--	--	---

<p>6 回 目</p>	<p>1 【読み復習】 1 課～4 課 一～十、口、目、足、手、耳、上、中、下、 右、左、早い、正しい、大きい、小さい、の 漢字カードを読ませる。 ※小テスト 読み 2</p> <p>3 【読み導入】 5 課 赤、青、白 (あか、あお、しろ)</p> <p>① 折り紙やクレヨンで赤、青、白の色を見せ て、「あか、あお、しろ」と練習。 ② 漢字の読みの練習</p>	<p>2 【書き導入】 4 課 早い、正しい、大きい、小さい の書き練習をする。 Tは送り仮名に気を付けて書くように指導す る。「い」「きい」など漢字の下にひらがながあ ることを注意させる。</p>	<p>カードを読んで復習をする。</p> <p>※1 課から 6 課までの読みテストをする。 (一～小さい)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・送り仮名に気を付けながらノート書きをする。 ノートに書いた後、声を出して読んでTにチェ ックしてもらう。 ・「4時です。朝、早いです。」「これは、正しい です。」など文を作らせて、ノートに書く。 ・ Tに続いて読む
----------------------	--	---	---

<p>7 回 目</p>	<p>1【読み復習】2課～5課 口、目、足、手、耳、上、中、下、右、左、 早い、正しい、大きい、小さい、赤、青、白 の漢字カードを読ませる。</p> <p>3【読み導入】6課 天気、月、夕がた、日、雨、空 (てんき、つき、ゆうがた、ひ、あめ、そら) 夕方は分かりにくいので、 「朝、日が出て、夕がた西の空にしずみます。」 と言って絵カードで導入するか、黒板に絵を描く。 かんじだいすすき(一)6課参照</p>	<p>2【書き導入】5課 赤、青、白 画数、書き順に気を付けて書くように指導する。</p>	<p>カードを読んで復習をする。Tが持っているカードを一人2～3枚引いて、出た漢字で文を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書き順と画数に気を付けながら書く。 ・書き終わったらTから丸をもらって読む。間違いだったものは、必ず直して丸をもらって読む。 <p>・Tに続いて漢字を読む。漢字を読んだ後、漢字の語彙を使った文を口頭で作る。 「月がきれいです」 「夕がた うちにかえります。」など</p>
----------------------	--	---	---

<p>8 回 目</p>	<p>1【読み復習】3課～6課 上、中、下、右、左、早い、正しい、大きい、小さい、青（青い）、赤（赤い）、白（白い）、天気、月、夕がた、日、雨、空 の漢字カードを読ませる。</p> <p>3【読み導入】7課 木、林、森、山、川、田 （き、はやし、もり、やま、かわ、た） 絵と漢字の点結びをして、意味を確認 かんじだいすき（一） 8課参照</p>	<p>※小テスト 書き2</p> <p>2【書き導入】6課 天気、月、夕がた、日、雨、空の書き練習。 画数、書き順に気を付けて書くように指導する。</p> <p>気は簡体字と違うので、すでに中国で漢字を練習してきている子どもに対しては気を付ける。</p>	<p>カードを読んで復習をする。</p> <p>※1課から6課までの書きテスト（一～天気）</p> <p>漢字の書き方を練習した後、「夕がた雨がふりました。」「月がきれいです。」「空が青いです。」「日がついよいです。」などの文作りをして、ノートに書いてTにチェックをしてもらう。</p> <p>数人のクラスであったら、全員の前で発表する。 （皆の前で話したり発表したり、する機会を多くすることで、子どもの自信にもつながる。）</p>
----------------------	--	---	--

<p>9 回 目</p>	<p>1 【読み復習】 4 課～7 課 早い、正しい、大きい、小さい、青、赤、白、 天気、月、夕方、日、雨、空、木、林、森、 山、川、田の漢字カードを読ませる。 ※小テスト 読み 3</p> <p>3 【読み導入】 8 課 土、火、水、石 (つち、ひ、みず、いし) 絵カードがない場合は、Tが黒板に絵を描いて 意味を確認させる。</p>	<p>2 【書き導入】 7 課 木、林、森、山、川、田 画数、書き順に気を付けて書くように指導する。</p>	<p>・カードを読んで復習をする。</p> <p>※3 課から 8 課までの 読みテスト (口～田)</p> <p>・漢字の書きを練習した後、漢字の言葉を使っ て文を作る。「山に森や林があります。」「あの木 はたかいです。」「川の近くに田んぼがありま す。」などのように文を作ってノートに書く。 (一人で文章が作れない子どもは、Tがヒント を与えながら文章を作る)</p> <p>・絵で意味を確認して漢字の読みをする。</p>
----------------------	--	--	---

<p>10 回 目</p>	<p>1【読み復習】5課～8課 青、赤、白、天気、月、夕方、日、雨、空、 木、林、森、山、川、田、土、火、水、石の 漢字カードを読ませる。</p> <p>3【読み導入】9課－① 男、女、人、子ども (おとこ、おんな、ひと、こども) 男の子、女の子、男の人、女の人それぞれの 絵を見せて男女を分からせて、漢字を読ませる。</p>	<p>2【書き導入】8課 土、火、水、石 画数、書き順に気を付けて書くように指導する。</p> <p><u>石と右の漢字が似ているので 特に注意する。</u></p>	<p>カードを読んで復習をする。</p> <p>・絵で確認して漢字を読む。</p> <p>石と右の違いを意識して漢字の練習をする。</p> <p>読み練習をする。 読み練習をした後、 「ぼくは男の子です。リーさんは女の子です。」 のような文を作らせる。</p> <p>ゲーム 3</p> <p>①A 4の紙を「三分の一に折ってください。もう一度折ってください。」と縦横折って9マスを作り目で作ってビンゴカードを作る。 ②Tが今まで書きを学習した漢字を9つ読んでSは自分の好きな場所に漢字を書く。 ③Tが読んでSに書かせて漢字を袋に入れて、一枚ずつ取り出してSに読ませて自分のビンゴカードに書かれた漢字に○をする。 ④一番早く縦か横に○が並んだSが勝ち。</p>
-----------------------	---	---	---

<p>11 回 目</p>	<p>1 【読み復習】 6 課～9 課① 月、夕方、日、雨、空、木、林、森、山、川、 田、土、火、水、石男、女、人、子どもの漢 字カードを読ませる。</p> <p>3 【読み導入】 9 課② 先生、王さま (せんせい、おうさま) 「先生」の言葉はすでに知っているが、王さま は分かりづらいので、絵本などの絵を見せて導 入する。</p>	<p>※小テスト 書き3</p> <p>2 【書き導入】 9 課① 男、女、人、子どもの書き練習をする。 画数、書き順に気を付けて書くように指導する。</p>	<p>カードを読んで復習をする。</p> <p>※4 課から9 課までの書きテスト（～石）</p> <p>書き練習をした後、 「クラスに男の子が 15 人と女の子が 13 人いま す。」などの文を作る。</p> <p>読み練習をする。(せんせい、おうさま) 中国語の王と日本語の王では意味が違うので、 絵本などで日本語の王の意味を知る。 (中国語の帝王・君主が日本語の王にあたる。)</p>
-----------------------	---	---	---

<p>12 回 目</p>	<p>1 【読み復習】 7 課～9 課② 木、林、森、山、川、田、土、火、水、石、 男の子、女の子、男の人、女の人、先生、王 さまの漢字カードを読ませる。 ※小テスト 読み 4</p> <p>3 【読み導入】 10 課 犬、貝、虫、花、草、竹 (いぬ、かい、むし、はな、くさ、たけ) の 読み 絵を使って漢字の意味を教える。</p>	<p>2 【書き導入】 9 課② 先生、王さま 画数、書き順に気を付けて書くように指導する。</p>	<p>カードを読んで復習をする。</p> <p>※ 8 課から 11 課までの 読みテスト (木～王さま)</p> <p>漢字の書き練習をした後、「田中先生はわたしの 先生です。」「王さまの耳はろばの耳をよみまし た。」などの文を作ってノートに書いて先生にチ ェックをもらう。</p> <p>読み練習をする。</p>
-----------------------	--	--	--

<p>13 回 目</p>	<p>1 【読み復習】 8 課～10 課 土、火、水、石、男の子、女の子、男の人、 女の人、先生、王さま、犬、貝、虫、花、草、 竹の漢字カードを読ませる。</p> <p>3 【読み導入】 11 課① 学校、名まえ、本、 (がっこう、なまえ、ほん) 意味は分かっているので、読みのみ導入する。</p>	<p>2 【書き導入】 10 課 犬、貝、虫、花、草、竹、 <u>*貝と花は簡体字とは、字形が少し違うので指導のときには気をつける。</u> 画数、書き順に気を付けて書くように指導する。</p>	<p>カードを読んで復習をする。</p> <p>貝と花は中国の簡体字と字と違うので、特に気を付けながら書き練習をさせる。 「犬がすきです。」 「貝をたべました。」のような文を作る練習をする。</p> <p>読みの練習をする。</p> <p>ゲーム 4 漢字カードの神経衰弱ゲーム。 ①漢字のカードと漢字の読みのひらがなカードを裏にして並べる。 ②読みと漢字が同じものが出たら取ることができる。</p>
-----------------------	---	---	---

<p>14 回 目</p>	<p>1 【読み復習】 9課～11課① 男の子、女の子、男の人、女の人、先生、王 さま、犬、貝、虫、花、草、竹、学校、名ま え、本、 の漢字カードを読ませる。</p> <p>3 【読み導入】 11課② 文、字、年、音、 (ぶん、じ、ねん、おと) 文、字は文章、字は漢字、ひらがな、カタカナ を見せて意味を 捉えさせる。</p>	<p>※小テスト 書き4</p> <p>2 【書き導入】 11課① 学校、名まえ、本 <u>名の形をとるのが難しい子どもには鉛筆で書いてなぞらせる。</u> 画数、書き順に気を付けて書くように指導する。</p>	<p>・漢字カードを読んで復習する。</p> <p>※5課から10課までの書きテスト(～女の子)</p> <p>・書き練習をする。 文字の練習をした後、 「学校に来ました。」「本に名まえをかきました。」のような単文を作ってノートに書く。</p> <p>・読み練習をする。</p>
-----------------------	---	---	---

<p>15 回 目</p>	<p>1 【読み復習】 9 課②～11 課② 先生、王さま、犬、貝、虫、花、草、竹、学 校、名まえ、本、 文、字、年、音、の漢字カードを読ませる。 小テスト読み 5</p> <p>3 【読み導入】 12 課① お金、百円玉、千円、車 (おかね、ひゃくえんだま、せんえん、くる ま)</p> <p>【読み導入】 15 課 お金、百円玉、千円、車</p>	<p>2 【書き導入】 11 課② 文、字、年、音 画数、書き順に気を付けて書くように指導する。</p>	<p>カードを読んで復習する。</p> <p>※11 課から 14 課までの読みテスト (先生～音) 読み練習をする。</p> <p>書き練習をする。</p> <p>読み練習をする。</p>
-----------------------	---	--	---

<p>16 回 目</p>	<p>1 【読み復習】 10 課～12 課① 犬、貝、虫、花、草、竹、学校、名まえ、本、 文、字、年、音、 お金、百円玉、千円、車の漢字カードを読ませる。</p> <p>3 【読み導入】 12 課② 町、村、糸、力 (まち、むら、いと、ちから) の読みを導入 糸は、実物を見せると分かりやすい。</p>	<p>2 【書き導入】 12 課① お金、百円玉、千円、車 画数、書き順に気を付けて書くように指導する。</p> <p><u>*日本語の円と中国語の円の意味が違う中国語では○の意味</u></p>	<p>カードを読んで復習する。</p> <p>書き練習をした後、 「さいふにお金があります。」のような文を作成する。</p> <p>・読み練習をする。</p> <p>ゲーム 5 漢字すごろく 今まで出てきた漢字を使った漢字すごろくをする。 (かんじだいすき (一) p 7 5 参照)</p>
-----------------------	---	--	---

<p>17 回 目</p>	<p>1 【読み復習】 11 課①～12 課② 学校、名まえ、本、文、字、年、音、お金、 百円玉、千円、車、町、村、糸、力の漢字カ ードを読ませる。</p> <p>3 【読み導入】 13 課① 休みます 出ます 立ちます (やすみます。でます。たちます)</p>	<p>※小テスト 書き 5</p> <p>2 【書き導入】 12 課② 町、村、糸、力 画数、書き順に気を付けて書くように指導する。</p> <p>*糸は簡体字と形が違うので、注意。</p>	<p>漢字カードを読んで復習をする。</p> <p>※6 課～15 課までの書きテスト (お金、百円玉、 千円、車)</p> <p>書き練習をした後、文作りをする。 「わたしの町はおおきいです。」のような文を作 ってノートに書いて先生にチェックしてもら う。 ・漢字の読みをする。</p>
-----------------------	---	---	--

<p>18 回 目</p>	<p>1 【読み復習】 11 課②～13 課① 文、字、年、音、お金、百円玉、千円、車、町、村、糸、力、休みます、出ます、立ちます の漢字を読ませる。</p> <p>3 【読み導入】 13 課② 見ます、入ります (みます。はいります) の読み練習をさせる。</p>	<p>2 【書き導入】 13 課① 休みます、出ます、立ちます 画数、書き順に気を付けて書くように指導する。</p>	<p>カードを読んで復習する。</p> <p>書き練習をした後、作文をする。</p> <p>・漢字の読みをする。</p>
<p>19 回 目</p>	<p>1 【読み復習】 12 課①～13 課② お金、百円玉、千円、車、町、村、糸、力、休みます、出ます、立ちます、見ます、入りますの漢字カードを読ませる。 ※小テスト 読み6</p> <p>3 【読み導入】 14 課 日よう日、月よう日、火よう日、水よう日、木よう日 金よう日 土よう日 の読みを導入、中国とは違う *中国語の曜日は(星期日、星期一、星期二、星期三、星期四、星期五、星期六) 韓国も漢字で書いた場合は同じである</p>	<p>2 【書き導入】 13 課② 見ます、入ります 画数、書き順に気を付けて書くように指導する。</p>	<p>カードを読んで復習する。</p> <p>※15 課から 18 課までの読みテスト (先生～音) 送り仮名に気を付けながら練習する。</p> <p>読み練習をする。 読みの時には長音に気を付けながら読む。</p>

<p>20 回 目</p>	<p>1【読み復習】12課②～14課 町、村、糸、力、休みます、出ます、立ちます、 見ます、入ります 日よう日、月よう日、火よう日、 水よう日、木よう日 金よう日 土よう日</p>	<p>2【書き導入】14課 日よう日、月よう日、火よう日、水よう日、木 よう日、金よう日、土よう日 の練習 すでに本国で漢字を学習してある子どもには、日 曜日のように曜を書かせる。</p>	<p>カードを読んで復習をする。</p> <p>書き練習をした後、文を作って、ノートに書く。 T:「日曜日になにをしましたか。」S:「日曜日 に町に行きました。」のようにQAをして文をノ ートに書く。</p>
<p>21 回 目</p>	<p>読みテスト 1年生の漢字総復習</p>	<p>書きテスト 1年生の漢字総復習</p>	<p>テストを受ける</p>